

19/9/14 「名古屋城エレベーター問題の今とこれから」

名古屋市民オンブズマン 内田と名古屋城総合事務所森本氏とのやり取り

内田：一点、森本さんの関係するところで、新技術の公募概要について、2019年度から公募開始、書類受付と言うふうに書いてあるのですが。

当初の予定は2019年度のいつから公募開始を予定していたのか。

そして市長の2022年度を断念するということが決まってからこの2019年度の公募開始予定は何か変更したのか、する予定があるのかということをお尋ねします。

森本：今のお話は9ページの期間のところのお話かと思えますけれども。

当初はですね、私が赴任したときは今年度の早い段階でということを知っていました。

つまり、予算を持ってですね、この例えば公募支援のような委託予算をいただいていますので、そのような形でおりましたが、現在、8月29日に竣工時期を延期することから、木造天守のスケジュールというのをきちんと把握してですね、それを受けて公募の開始をすべきではないかという考えを持っています。

内田：最後もう一度お願いします。

森本：公募の開始時期を8月29日の市長の竣工延期に関するコメントが発表されましたけれども、そうしますと、全体のスケジュールというのが今まだ見えてこない状況になるんですね。

つまりそれをこれから竹中工務店、それから学識経験者ときちんと検討はしていきますと申し上げております。

だからこれを鑑みてですね、拙速にスタートを切るのではなくて、きちんと全体のスケジュールを鑑みながら決めていく必要があるということで、現在待機状態になっています。

辻：公募開始時期はまだ先になると言うことですかね。

森本：今日のところは具体的に言えないな。

辻：それは2020年度になる可能性もあると

森本：はい。それがずれる可能性があるってことですか。時期に対してもちょっと私の方から言えないのはちょっといろんな情報待ちというか、さまざまにバランスを持ってですね検討する必要があると考えています。